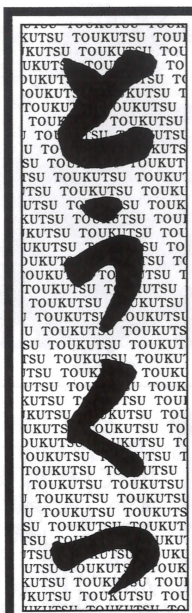


日本靴小売商連盟 第54回通常総会開催

令和5年1月31日火曜日
西村記念ホールに於いて、日本靴小売商連盟・第54回通常総会が開催された。



開会に当たり、司会の矢代氏から、本日の参加者8名、委任状出席11名合計19名の参加と、定足数の確認が行われ総会の成立を報告した。



一般社団法人
東靴協会
千代田区鍛冶町1-6-17
〒101-0044 ☎(3252) 5656
(2月号)

吉村副会長より「ご多忙の中、ご出席ありがとうございます。本日の議事の慎重審議をよろしくお願いいたします」と挨拶。

引き続き小堤会長が「靴小売商連盟は昭和44年2月4日に設立し54回目の総会を迎えました」さらに靴業界の現状を説明し「今後も皆様のご支援ご協力をお願いします」と挨拶し、進行了。

議長には規約により会長が任命され、議長は議事録署名人に青木隆史氏と松戸福治氏の2名を推薦し承認され、議事に入った。

議長は第一号議案「令和4年度事業報告並びに決算報告の件」を事務局から報告するよう求め、矢代氏より配布資料の説明を行った。事業報告では、コロナ禍で受講者が減

少したが、シューフイッター養成講座を2回、および認定・資格更新を行った。靴まつり事業についても全国規模で開催した等、詳細に説明した。収支報告では、貸借対照表、収支計算書を資料に基づき説明した。続いて青木監事に監査報告を求め、青木氏は「1月24日に須藤氏と田中氏の3名で監査したところ、正確かつ適正に処理されている」と報告した。議長は質疑を求めたが異議なく1号議案は原案通り承認された。

続いて3号議案「令和5年度事業計画案並びに収支予算案承認の件」を矢代氏より資料に基づき詳細な説明を行った。事業計画では、コロナも落ち着きが見え始めた中、「特色ある商品作り」「固定客を作る販売員の接客力」「特色ある店づくり」の3つを挙げ、靴小売専門店として一層の努力を期待する、とした。続いて各事業の計画案、及び各事業の予算案を説明した。議長は質疑を求めたが、異議なく満場一致で原案通りに承認された。そこで議長は議長席を離れ、司会より閉会の挨拶を栗原常務理事に求め、栗原氏は「総会が滞りなく終了でき、皆様のご協力に感謝します」と挨拶し、総会は無事に終了した。

令和5年度 日本靴小売商連盟役員名

会長・小堤 幸雄 (関東)
(株)キッド
副会長・友田 浩司 (北陸)
(有)ミラドル・トモダ
副会長・吉村 修二 (関東)
(株)トリオ
常務理事・栗原 茂 (関東)
(株)イケダヤ靴店
理事・東條 英樹 (関東)
(株)ワシントン靴店

理事・兼松 孝次 (関東)
(株)かねまつ
理事・高橋 郁夫 (関東)
ダイアナ(株)
理事・櫻井 貴浩 (九州)
(株)櫻井總本店
理事・岩井 久 (北海道)
(株)岩井信六商店
理事・大村 康郎 (近畿)
(株)明生
理事・松戸 福治 (関東)
(有)松戸靴店
理事・木内 二郎 (関東)
(株)大和靴店
理事・矢代 健二 (関東)
(株)銀座ヨシノヤ
理事・橋本 博文 (東北)
(株)橋本
監事・須藤 教夫 (関東)
(有)スドウ靴店
監事・青木 隆史 (関東)
(株)アオキ
監事・田中 省一 (関東)
(有)タナカシューズ
顧問・矢代 裕夫 (関東)
(二社) 東靴協会

事務局対応時間変更

当面の間、当東靴協会事務局の対応時間を
午前11時～午後4時
とさせていただきます。

廃棄リンゴ 合成皮革に再生

廃棄されるリンゴを使った合成皮革が注目されている。「アップルレザー」などと呼ばれ、環境問題やSDGs(持続可能な開発目標)への関心の高まりから海外では多くの商品が流通している。国内でも商品開発の動きが広がっている。

東京千代田区の「有楽町マルイ」で開かれている販売イベント「エシカルな暮らしLAB」には、イタリア産のアップルレザーを使ったバッグや財布などの小物が並ぶ。訪れた大学生(20)は「動物の革製品と見分けがつかない。機能性やデザインが同じなら、環境に良い方を選びたい」と話す。



服飾雑貨販売会社のラヴィストトーキョー(東京)がデザインした。社長の唐沢海斗さん(31)は「植物由来の合成皮革を使えば家畜が減り、二酸化炭素の排出を抑えられる。環境問題の解決策の一つとして選ぶ人も多い」と説明する。

アップルレザーは、環境や人などに配慮して作られた「エシカル商品」の一つで、地球温暖化や人権問題などへの関心の高まりとともに注目が集まっている。リンゴの芯や搾りかすを乾燥、粉碎し、樹脂などと混ぜて作るため、食品廃棄物の削減などにつながる。手触りは本物の革そっくりで、伸縮性があり、軽いのが特徴だ。

近年は国内でも商品化する動きが活発化している。

新興企業のソレナ(長野)は昨年、長野県飯綱町と合成樹脂製品製造の協和レザー(静岡)と共同で、「りんごレザー」の開発に取り組む。

町が町内の醸造施設などからリンゴの搾りかすを仕入れ、町の施設で乾燥させ、粉碎作業を行う。町産業観光課の担当者は「日本一のリンゴのまち」を目指す私たちにとって、リンゴを余すことなく活用する点が魅力的だ」と語る。

国内のブランドや職人らと、様々なファッションアイテムの試作もしている。昨年暮れから、クラウドファンディング「マクアケ」のサイトで、財布を割引価格で先行販売している。今年4月からは、自社サイトなどで一般向けにバッグや名刺入れなども発売する予定。

ソレナ社長の伊藤優里さん(38)は「長野にりんごレザー関連の産業を根付かせ、地域活性化につなげたい」と話す。

新興企業のアップサイクル(青森)は、青森県産のリンゴを使い、「リンゴテックス」を開発。昨年10月には、同社のヘッドレストカバーが、サステイナビリティーをテーマにした全日空(ANA)の特別塗装機に採用された。一般向けの商品も開発中で、今年中に発売する予定だ。

海外では、サボテンやキノコを使った合成皮革の商品も生産されており、エルメスやアディダスなどの大手ブランドでも使われ始めている。

第一生命経済研究所の奥脇氏は「消費者や投資家の意識の高まりを受け、環境に配慮した商品作りに動き出す企業は今後も増えていく。日用品などにも広がっていくだろう」と話している。

(読売新聞より)

履く湯たんぽ

寒さが本番の季節。若い女性たちの「温活」熱が高まり、グッズ探しに余念がない。体を温めることでリラックス効果をえるだけでなく、普段使いの便利性と両立させた商品も目立つ。



切れており、友人に店舗で買ってきてもらった。以前から足先や足首の冷えに悩む別の28歳の女性は、ヘルメット潜水(大分県国東市)がウエットスーツの素材を使つて開発した日用品などのブランド「クロツツ」の「やわらか湯たんぽ・足用ショータイプ」が一番のお気に入り。シューズの型の湯たんぽで、「家で履いたまま歩けるのがいい」という。1万円を超える価格だが、「ユーチューブで有名モデルが愛用しているのを見て背中を押された」と購入した。

温めるのは大事だが、家の外で生活感を出したくない。そこで活躍するのが透け感のあるタイツだ。30歳の女性は「一見、肌が透けて見える薄手のストッキングのようなのだが、実は裏起毛素材というタイツを愛用する。トレンカタイプもあり、ゴルフの時はミニスカートの下に着用している。靴下製造の岡本(大阪府)の「まるでこたつソックス」を購入したのは27歳の女性。SNSで話題になっているのを見たのがきっかけだ。「厚みがあるのでずれ落ちることはなく温かい」と話す。

女性ならではのニーズにこたえる温活グッズへの期待はますます高まりそうだ。

(日経MJより)

靴小売売上高ランキング 2022

(FW 誌1月号より)

順位	企業名	本社所在地	決算期	売上(百万円)	前期売上	純利益(百万円)	店舗数
1	(株)エービーシー・マート	東京・渋谷区	22.2	169,776	151,909	16,452	1,053
2	(株)チヨダ	東京・杉並区	22.2	70,496	74,543	△3,216	954
3	(株)ジーフット	東京・中央区	22.2	65,292	64,872	△7,150	694
4	ヒラキ(株)	神戸・中央区	22.3	15,199	15,962	457	11
5	(株)つるや	愛媛・松山市	22.2	12,010	11,007	499	118
6	ダイアナ(株)	東京・渋谷区	22.3	11,986	10,252	—	—
7	(株)ダブルエー	東京・渋谷区	22.1	11,228	9,983	407	106
8	(株)口コンド	東京・渋谷区	22.2	9,875	10,275	604	—
9	東京靴(株)	島根・松江市	22.8	8,702	8,377	—	39
10	(株)ステップ	大阪・北区	21.8	8,000	8,800	—	—
11	(株)サンドリームファクトリー	長野・長野市	22.1	7,578	8,070	—	30
12	クロックスジャパン	東京・港区	21.12	7,535	7,439	—	—
13	(株)リーガルリテール	千葉・浦安	22.3	6,337	5,154	66	77
14	(株)ベネクシー	東京・千代田区	21.12	3,940	3,940	—	—
15	(株)かねまつ	東京・中央区	21.7	3,900	5,100	—	—
16	(株)ビーンズ	福井・福井市	21.7	3,394	2,734	—	—
17	(株)ショービ	浜松・東区	22.2	3,260	2,734	—	—
18	(株)銀座ヨシノヤ	東京・葛飾区	22.2	3,190	2,785	—	—
19	(株)靴のホッタ	愛知・清須市	22.8	2,695	2,569	—	36
20	(株)ビーンズ	香川・高松市	22.6	2,107	1,972	61	1
21	(株)テヅカ	宮崎・宮崎市	21.5	2,022	2,123	—	28
22	(株)靴の尚美堂	鹿児島市	21.9	1,675	1,746	—	—
23	(株)ワシントン靴店	東京・港区	22.2	1,655	1,801	—	—
24	(株)Welleg	香川・高松市	22.2	1,619	1,538	—	—
25	(株)アマガサ	東京・台東区	22.1	1,568	2,385	△857	—
26	マレーマレー・ジャパン	神戸・長田区	21.9	1,164	1,576	—	—
27	(株)鈴忠	東京・豊島区	22.6	1,000	950	—	—
28	(株)PRAIA	東京・目黒区	22.9	999	973	—	—
29	(株)オージー	大阪・浪速区	22.1	931	1,036	—	—
30	(株)AKAISHI	静岡県・駿河区	21.12	872	844	47	3
31	(株)橋文	青森・八戸市	21.9	821	897	—	5
32	(株)ワタナベ靴店	新潟・長岡市	21.6	810	796	—	—
33	(株)シューパブ	東京・港区	21.12	650	800	—	—
34	(株)菅原靴店	岩手・盛岡市	21.7	621	538	—	—
35	東北リーガルシューズ(株)	千葉・浦安市	22.3	610	583	13	9
36	(有)シューズ・モリ	岩手・盛岡市	22.1	500	470	—	9
37	(株)亀田屋本店	ひたちなか市	21.10	480	563	—	—
38	(株)まつや	和歌山市	22.2	456	599	—	—
38	(株)タウン・タウンシューズ	岡山・岡山市	22.8	456	433	13	13
40	(株)サンテングヤ	福岡・久留米市	21.8	450	500	—	—
41	(株)ジェリコ	大分・中津市	21.5	390	490	—	—
42	(株)ダッチカンパニー	東京・大田区	21.6	382	329	—	—
43	(株)イバラキヤ	大阪・高槻市	22.8	381	351	—	6
44	深瀬商事(株)	札幌・北区	22.1	370	321	—	—
45	(株)ヌル	大阪・北区	21.7	272	330	—	—
46	シューズラウンジ(株)	東京・渋谷区	21.12	220	216	—	—
47	(株)つるや	高知・高知市	21.8	215	300	—	—
48	(株)岩井信六商店	札幌・中央区	21.12	200	204	—	—

2022年
靴小売売上高ランキング

FW(フットウェア・プレス誌)では、2022年版の靴・バッグ・資材の売上高ランキングを1月号に発表しました。これから、「靴小売業」を掲載する。

都心立地の店舗も好調で

3.7%増回復

靴小売業48社の売り上げ合計は4400億円、前期比3.7%増と、前期集計の19.6%減から増加に転じている。48社のうち、前期を上回った企業は26社と、増収企業が減収を上回る結果となった。依然コロナの影響はあつたものの、外出機会は増えており、

前期苦戦した都心立地で店舗展開の小売りも2桁の伸びを見せている。コロナ禍、前期に引き続きEC主力の企業は順調に伸ばしているのに対し、地域有力店の中には、依然厳しい状況のところもある。1位のABCマートは、前期の2桁減から2桁増に転じた。主力のスポーツ以外の商品とキッズ商品が伸長した

ことと、47店舗の新規出店等も増加に貢献した。7位の「オリエンタルトラフィック」を展開するダブルユーは12.5%の増加。跳べるパンプスやスニーカーなどをTVやネットCMで訴求した。このためいつもと違うカテゴリーの売り上げが上がり、全体を牽引した。リーガルコーポレーション

の小売り部門であるリーガルリテールは前期比23.0%の伸びを見せた。ビジネスシューズの買い替え需要に加え顧客接点拡大のためのSNSを利用した広告活動や有名ブランド・企業とのコラボモデルの発売、3月に実施した各種販

(FW1月号)

理事会・支部連絡会

◆12月

だより

令和四年十二月二十二日(木)
午後二時、西村記念ホール

出席者18名

松戸副会長の司会で開会。

栗原会長より「早いもので今年も12月となりました。クリスマス、年末商戦とお忙しくなるでしょう、業界も少し明るくなってきたように感じます。上野も外国人が多くなってきました。一時の爆買いはなくなり、何を売るかのアイデアを出し考えていく必要があるでしょう」と挨拶。引き続き議事に入った。

一、靴の記念日お買物券の取り扱いについて

矢代専務理事より、現在「靴まつり」と「靴の記念日」の事業には皮産連からの補助をいただいて運営しております。その補助のほとんどはお買物券に充てております。皮産連より原資は基金のため景品に充てることはまずいのでは、との見解が出、今後は考えるよう要請がありました。関連のポスター等印刷物などの経費に充当することは、問題はないとの見解です。そこで景品費は協会から捻出することとし、150万円の予算で行い、来年3月からの靴の記念

日から、景品を5千円券を300枚または3千円を500枚の案があるが、いかがでしょうか、と提案し、場内に諮った。小堤氏から、かつて3千円で行ったこともあったが、応募数が減り盛り上がりなかった。との意見もあり、検討の結果、満場一致で5千円券を300枚とすることと、経費は協会で負担することが承認された。

二、親和会総会について

松戸副会長より説明。前回もお知らせいたしました。が、来年の親和会総会は、2月16日(木)・17日(金)に箱根湯本温泉「河鹿荘」で開催いたします。1月24日までにお申し込みください、と説明し、参加要請を行った。

三、シューフィッター養成講座について

1月に予定されていた表記講座は都合により中止となりました。次回は4月を予定しております、と矢代専務理事より報告した。続いて今後の予定の説明があり理事会は終了した。

◆1月

令和五年一月二十四日(火)
午後二時、西村記念ホール

出席者17名

松戸副会長の司会で開会。栗原会長より「本年は良い年

になるとよいですね。上野は、このところ外国人がかなり増えてきました。協会としても、言葉の対応の応援ですとか少しでも、お役に立てることがあればと考えております。世界はまだまだ揺れています。GAF Aと言われ、世界をリードしてきた会社、急に人員整理を始める等、流れが変わるのかもしれない。その中、アジア系の観光客は増え消費も増えているような気がします。日本では物価が上がり給料が上がらない、との報道が目立ち暗いムードになっています。メンタル面でも違いがあるとは思いますが、悲観的なことばかりを考えず、行動することが必要ではないでしょうか」と挨拶。続いて議事に入った。

一、今後の事務局体制について

田中氏退任後の事務局体制について矢代専務理事より説明。探していたところ、一般社団法人等の事務を代行する会社、公益総研株式会社事務センターが受けてくれるとのこと、(配布の詳細な資料を説明)当協会の経理及び事務全般を、お願いしたかどうか、と検討している。本日の理事会で承認をいただければ進めていきたい、と説明した。場内に諮り満場一致で承認された。今後は会長をはじめ検討を進める。

二、アジアリング経営戦略セミナーについて

表記セミナーが2月15日(水)すみだ産業会館9階会議室で、午

後1時30分より開催される。講師はアジアリング高橋悟史氏。参加希望者は事務局まで、と説明し参加要請をした。

三、親和会総会について

来月開催の親和会の詳細について松戸副会長より説明した。

四、靴の記念日の催事について

矢代専務より3月15日の催事について説明。ほぼ例年通り、HP・インスタグラムでも案内する。

五、日本靴小売商連盟総会について

表記総会を1月31日午前11時より開催する。関係者はご出席ください、と説明した。

六、その他

今後の委員会等予定を説明し、理事会は終了した。

東京都中小企業景況調査(11月) 東京都中小企業景況調査(12月)
業況：足踏み状態 業況：横ばいで推移
見通し：わずかに上昇 見通し：小幅ながら漸進

卸売業			業況			
対象数	回答数	回答率	11月	今後3か月間見通し(当月比)		
875	325	37.1%		悪い	良い	
				-100	0	100
衣料・身の回り品	1. 男子服					
	2. 婦人・子供服					
	3. 靴・履物					
	4. かばん・袋物					
	5. 装身具・身の回り品					

卸売業			業況			
対象数	回答数	回答率	12月	今後3か月間見通し(当月比)		
875	343	39.2%		悪い	良い	
				-100	0	100
衣料・身の回り品	1. 男子服					
	2. 婦人・子供服					
	3. 靴・履物					
	4. かばん・袋物					
	5. 装身具・身の回り品					

小売業			業況			
対象数	回答数	回答率	11月	今後3か月間見通し(当月比)		
875	250	28.6%		悪い	良い	
				-100	0	100
衣料・身の回り品	1. 呉服・服・寝具					
	2. 男子服					
	3. 婦人服					
	4. 子供服					
	5. 靴・履物					
	6. かばん・袋物					
	7. 雑貨・身の回り品					
	8. 時計・眼鏡					
	9. ジュエリー・製品					

小売業			業況			
対象数	回答数	回答率	12月	今後3か月間見通し(当月比)		
875	297	33.9%		悪い	良い	
				-100	0	100
衣料・身の回り品	1. 呉服・服・寝具					
	2. 男子服					
	3. 婦人服					
	4. 子供服					
	5. 靴・履物					
	6. かばん・袋物					
	7. 雑貨・身の回り品					
	8. 時計・眼鏡					
	9. ジュエリー・製品					

社名	11月	12月	1月
チヨダ	既存店売上	-0.4	2.7
	客数	-4.8	-2.4
	客単価	4.6	5.2
ABCマート	店舗数	931	930
	既存店売上	12.9	13.9
	客数	2.8	2.5
Gフット	客単価	9.9	11.1
	既存店売上	1081	1082
	客数	4.4	4.2
(ジョフット)	客単価	4.7	1.2
	既存店売上	-0.3	3.0
	店舗数	734	733

靴専門店・大手三社の直近3か月売上推移

年末、年始は苦戦したが、2月上旬から徐々に客数が回復した。自社ポイントサービスの会員獲得強化に努め売り上げ増に寄与した。(チヨダ)
3年ぶりの行動制限がない年始と、大寒波による冬物需要が高く好調。(ABCマート)
行動制限もなく、記録的な寒波到来もあり、防寒・防滑雪アイテム等好調に推移した。(ジョフット)